

普及促進委員会（第178～180回）ご報告用サマリー

| 3サービス計ICカード数 | 純増減実績 | 前年同月 | 差異 |
|--------------|---------|---------|---------|
| 2月ICカード数（実績） | 13,059 | 695 | 12,364 |
| 3月ICカード数（実績） | 21,381 | 36,649 | ▲15,268 |
| 4月ICカード数（実績） | 7,226 | 10,835 | ▲3,609 |
| 5月ICカード数（見込） | ▲17,470 | ▲13,978 | ▲3,492 |

| 施策検討WG | 親会 |
|--|---|
| ◆3月12日：「CTV」の取り組みについて | ◆第178回（3月15日）※議事録より |
| <ul style="list-style-type: none"> 放送事業者としては、どのようなサービス形態になるのか？放送加入にどの程度の影響があるのか？モニター調査のデータがどのように開示されるのか？に対して強い関心があった。 スカパーとしても既存放送加入者が他のOTTに行ってしまうことを防ぐための囲い込みとしての戦略を主目的としていること、データについてはこれから開示の方法を検討するが、四半期に一度程度報告する計画であることが確認された。 | <p>【スカパーJSAT】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基幹商品である基本プランが想定ほど伸びていないので危機感を感じており、基本プランの商品力を上げるために、アロケーションルールを改定したいと考えている。PF全体が下がっている中、基本プランをより伸ばすために、今後も加入増に向けて取り組みたい。 <p>【放送事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年度末に過去実績のレビューを実施して、各年度の比較検討や意見交換をしてはどうか。基幹商品（ベーシック系CH）だけではなくペイチャンネルも含めた拡販に向けての検討が必要ではないだろうか。 |

| 施策検討WG | 親会 |
|---|--|
| <p>◆4月9日：「ポイントプログラム」の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知度の向上や景表法による施策の限界など課題はあるが、1年間順調に利用者数を伸ばしており、事故もなく運用できていることから全体的に前向きな意見交換となった。 ポイント登録者は契約残存率の向上やARPUの向上が見られており放送の付帯サービスとして効果を出している。 放送事業者からはプレミアムchでのポイント施策や他社ポイント事例の研究、放送事業者と連携した商品設計などの意見が出された。 | <p>◆第179回（4月12日）※議事録より</p> <p>【放送事業者】【スカパー-JSAT】意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の過去実績の振り返りについては、5月の経営者連絡会での報告後に実施予定。 今後、ポイントプログラムについては、新規件数獲得を意識した施策や景表法の壁の範囲でどのように施策ができるか等を整理しながら検討する。また、解約防止、顧客維持に貢献できるようDM送付の施策などを通じてマイルスカード登録率を上げていきたい。 ペイCHへのポイント付与は、事業者からの要望もあるので、実施に向けて検討を行う。 |
| <p>◆5月9日：「プロ野球セット」の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> スカパー内で唯一前年度を上回る実績を上げている商品で、特殊性はあるが、細かく施策を打ってきた実績は他商品のヒントになるのではないかと、という意見が多かった。 今後基本プランを中心に再加入対策や若年層対策などの検討をすることとなった。 | <p>◆第180回（5月10日）※議事録より</p> <p>【スカパー-JSAT】</p> <p>プロ野球セットは放送付帯配信に対応しており、プロ野球セットアプリの活用などを含めて加入が伸びているが、基本プラン等での他商品でも付帯配信があることで加入が伸びていく因果関係や加入獲得の手法については、まだ明確には見えてきていない状況。また、番組配信サービスの認知が低いことも課題として認識している。</p> <p>【放送事業者】【スカパー-JSAT】意見交換</p> <p>プレミアムサービスにおける様々な課題については、今後も協議検討を進めて行く。</p> |